

## 文学研究科 カリキュラムポリシー (Curriculum policy：教育課程編成・実施の方針)

1. 日本語・日本文学・日本文化の各分野に関する高度な専門的知識を体系的に修得し、とくに北東北をはじめとするそれぞれの地域性の解明、および内在する普遍性を追究できる能力を獲得できるように授業科目を設置する。
2. 広い視野に立って専攻分野における研究能力や高度の専門性を身につけるため、各分野における「特論」や「演習」の授業科目が計 22 単位、「課題研究Ⅰ・Ⅱ」が計 8 単位で、深く・広い専門的知識の修得と、主体的研究能力育成のためのバランスが適切になるように設置している。各分野に関する講義科目の「特論」を中心としたコースワークと、主体的に研究を進め、論文執筆に取り組めるように演習科目の「演習」を主体とするリサーチワークを取り入れ、広い分野の体系的知識の修得と専門的研究能力の育成をはかるための教育課程を編成する。
3. 修士論文作成に向けて、コースワークを基礎にして、「演習」以外のリサーチワークとして、自らがオリジナルな研究を行うことを目的にした「課題研究」を 1 年次より設ける。通年の必修科目「課題研究Ⅰ」(1 年次) の上に、「課題研究Ⅱ」(2 年次) に設け、「課題研究」を段階的に履修することで研究が計画的に進展するようにする。

## 社会福祉学研究科 カリキュラムポリシー (Curriculum policy：教育課程編成・実施の方針)

社会福祉学研究科の教育課程では、修士課程の教育目的を達成するため、次のカリキュラムを編成する。

1. 人間福祉特論科目において理論的・実践的な知識の修得を目指す科目を編成する。
2. 人間福祉実習科目において経験から具体的な支援過程の修得を目指す科目を編成する。
3. 人間福祉演習科目において文献研究・調査研究をとおした修士論文の作成を目指す科目を編成する。